

9/5
2011年第1084号
(毎月5、15、25日発行)

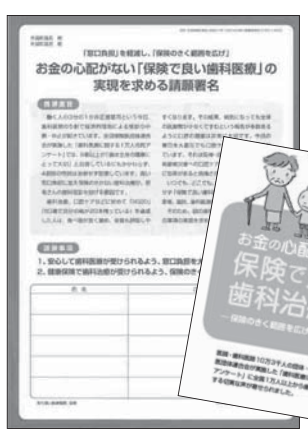
協会敬
会誌
大阪府
歯科人
保険志
協会岐
浪速区
幸町1-2-33
大阪府
大発大電
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円 月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

「保険でよい歯科」求め50万署名

患者負担減、給付拡大へご協力を



協会では、6月から「保険でよい歯科医療」の実現を求める新国会請願署名(患者署名)に取り組み、会内外から8000筆の署名が集まっている。7月の理事会では早急に2万筆、年内に5万筆を目標に決めた。歯科医療の危機を打開するために会員の協力を小澤理事長が呼びかけている。



同封の署名用紙とリーフをぜひ活用ください

国会で「歯科口腔保健法」が全会一致で可決・成立しました。昨年取り組んだ「保険でよい歯科医療」の実現を求める請願署名2万筆超が、歯科医療を充実してほしいと

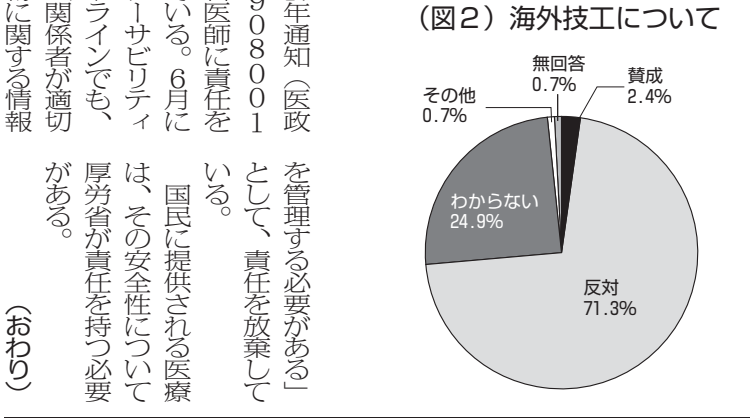
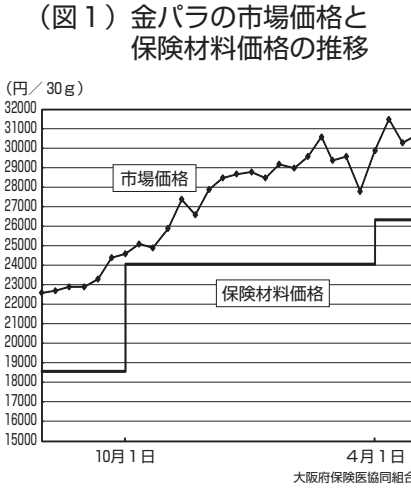
2010年度 会員意見調査報告 ④

2010年会員意見調査の第4の特徴は、金パラを代表とする材料のマイナス差額だ。自由意見欄には、「金パラ、銀合金等の適正な価格を維持して欲しい。今のままでは保険診療をすればする程、赤字になっている」(40代)、「金

金パラ逆ザヤに批判多数

海外技工「賛成」は2%

2010年会員意見調査の第4の特徴は、金パラを代表とする材料のマイナス差額だ。自由意見欄には、「金パラ、銀合金等の適正な価格を維持して欲しい。今のままでは保険診療をすればする程、赤字になっている」(40代)、「金



海外技工への反対の大きさは、海外技工に「反対」が71.3%と圧倒的に多く、次いで「わからない」が24.9%、

「時間がない」と「窓口負担が高い」です。受診する時間もないほど働かざるを得ないのに、収入が低く、通院できないという状態が広がっています。毎月、高すぎる保険料を支払っているのに、いったい何のための国民皆保険制度なのでしょう。今、働く人の3分の1

医療助成拡充には世論が影響

維新、府議会での態度と公約に矛盾

選挙情報特別賞を受賞した本紙4月5日付

選挙報道で特別賞

判断材料を丁寧提示

関西の優れた機関紙などの宣伝媒体を表彰する「第47回機関紙・広報・ミニコミコンクール」(大阪機関紙会館主催)の審査発表が6月16日にあり、協会の機関紙「大阪歯科保険医新聞」は選挙情報特別賞を受賞した。

報道。橋下知事による「維新改革」について、識者の解説・講演を掲載した。審査では、東日本大震災関連の報道で「4月の地方選挙に触れた記事がほとんど見られない中、『大阪歯科保険医新聞』の選挙特集が際立っている」「投票するうえで判断材料を丁寧に提示している」と評価した。

が非正規雇用となつていいます。この10年間で労働者の年間給与が50万円以上低下するなか、歯科医院の5割で経済的理由による受診の中断・中止が起きています。日本中で100万世帯が医療にかかれなるとの報告もありません。原因のトップは、「時間がない」と「窓口負担が高い」です。受診する時間もないほど働かざるを得ないのに、収入が低く、通院できないという状態が広がっています。

発事故は、東北地方のみならず、日本中に大きな影響を与えています。こんな時だからこそ、命と健康を守る医療は、誰もが安心してかかれるように大切に守り育てなければなりません。

しかし、政府は「社会保障・税一体改革案」で、窓口負担のアップと外来受診の大幅抑制、そ

して2006年改定で歯科診療報酬を大幅に引き下げる口実にした「医療の効率化」を大きな柱として打ち出しました。これでは、ますます国民と歯科医療機関が大きな打撃を受けます。

歯科医療を守る運動、国民の医療を受ける権利と地域歯科医療を守る運動として、協会は6月か

各種相談室

専門家がごお答えします

- 法律相談**
【日時】10月3日(月)午後2時～4時
【相談者】河村武信 弁護士
- 税務相談**
【日時】10月19日(水)午後2時～5時
【相談者】伊藤幸子 税理士
- 雇用相談**
【日時】10月20日(木)午後2時～4時
【相談者】堀口正二 社労士

相談料は無料、会場は保険医会館1Fです。

歯界

異常なほどの酷暑が昨年からの今年に続いている。私の医院では高齢、有病、遠方の人が多い。熱中症で倒れたらかなわんで、昨年は魔法瓶に冷茶を入れ待合室に置いたが、今年は小型冷蔵庫にバージョン・アップした。宅配便や材料や技工での訪問客にも水分補給を勧めている。過剰なサービスは逆に医院の品格を下げるからジューズは入れていない。

だが、下手な医療技術を少しは親切で補いたい。この不景気に倒れてる患者減少を防ぎたいという本音もある。自然治癒が期待できない歯牙の疾患に親切による医療効果はあまり期待できないが、施術による効果も似たものである。

親切だけでなく、医療施術が成功しても感謝される例ばかりではない。当然視される例や時には付け上られる例として無理な要求をされる。感謝ばかりを求めて、あまり熱くならず各例3分の1の確率と思えば、腹立たしさによる熱中症は防げる。